事業者向　放課後等デイサービス自己評価表（令和2年度）

富山地域福祉事業所デイサービス　ぽぴー

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・高齢者と子供たちが共有の為、午前・午後と時間を区切る等の工夫をして安全に利用できるようにしている。また、感染症予防対策として仕切り板を置き、安心して活動できるように配慮している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・時間帯により、増員が必要なときには他部門と協力し、個別のフォローや活動支援ができるように対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・適切である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・連絡ノートや介護記録を定期的に振り返り、改善策について話し合う時間を設け、職員間で共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・利用者様満足度アンケートを実施し、集計結果を職員で共有し業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・外部評価は受けていない。 ・今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・職員の質の向上を目指し、毎月事業所内でテーマ・担当を決め、研修を行っている。 ・外部研修に参加した職員がミーティング等で他の職員とも共有している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・利用面談時、本人、家族とのヒアリングを行って計画を作成している。また、相談支援専門員と連携し作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・児童用のアセスメントシートを利用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・必要に応じて職員がミーティングし、各子供に合わせた活動を立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・室内と屋外活動を季節や利用者の状況によって対応している。コロナ禍においても活動の幅が狭くならないように予防策をしっかりとって工夫していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・児童館、児童公園など外での活動を取り入れるようにしている。コロナ禍でドライブの活動は減ったが、分散するなどして取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個々の子供の様子や課題に応じて、職員で話し合いそれぞれに合わせた活動を支援している。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・シフト制の為全員での打ち合わせは出来ないこともあるが、各自で役割分担表を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了時に職員間で打ち合わせをするとともに、その場にいない職員には連絡ノートなどで気付いた点を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・利用者の様子や気づいたことを、記録し職員間で共有し、支援計画のモニタリングに生かしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・半年に一度、実施している。必要に応じてもっと短い期間で見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			・今年度、地域との連携についていろいろな取り組みを行った。今後、もっと積極的に地域との交流を図り、他の基本活動と組み合わせていきたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・保護者の方、学校の先生等と連絡し、情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・保護者から、検査結果、主治医の意見等を得ている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・書面（アセスメントシート、フェイスシート等）で確認している。 ・必要に応じて情報を共有し相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・次の施設への移行に関しての必要な情報の提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・利用者の状態の変化等ある場合、情報の提供を受けている。 ・必要に応じて今後も実施していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・コロナの影響で児童館の利用回数は減っているが、今後も交流できる機会をつくっていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	・あまり参加しているとは言えない。機会があれば参加を検討する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳を活用し送迎時などその日の様子や気づいたことを伝え、課題などを共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか		○		・保護者の方が勉強されている事も多く、教わることもある。お互いに会話を出来る環境と雰囲気作りをして子どものための支援をしていけるよう努力している。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時、重要事項説明書を提示し詳細に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・送迎時の保護者との会話。連絡帳の活用。 ・必要に応じて面接や電話での助言や支援を行っている。特に緊急事態宣言による学校の休校時には電話による支援を度々行った。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・保護者会という形はとっていないが、リース作りや収穫祭という行事にご家族に参加していただき、交流の場を設定している。今後も保護者間の交流の場を設けたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情解決窓口を設置し、随時対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・2か月に1回の割合でぽぴ一通信を発行し、活動概要等を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・十分注意している。 ・掲示物や通信などの写真掲載に関して同意書にサインして頂いている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・一人一人の様子を把握したうえで、対応に努めている. ・保護者には連絡帳や口頭により詳細を報告している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・今年度は当事業所の30周年ということもあり、記念祭を行った。地域の方にも多く参加していただき、ぽぴ一の活動を知っていただくことができた。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員に周知しているか	○			・各マニュアルを策定し、目の届く範囲に設置している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・事業所全体で、防災訓練（年2回）実施している。また、職員は地域の防災訓練にも参加している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・定期的に研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・現在、身体拘束を行わなければいけない子供はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・一覧表の作成、連絡ノート、昼食予定表にも必ず明記し、職員で共有している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット事例が起こった際には、報告書を作成し、職員全体で回覧・共有し、改善策を検討している。